

# 筋肉量・内臓脂肪蓄積量/体重・呼吸障害が、 生体に及ぼす諸影響についての後方視的調査

同意の取得について：

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）第12の1（2）イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：筋肉量・内臓脂肪蓄積量/体重・呼吸障害が、生体に及ぼす諸影響についての後方視的調査

研究責任者：藤林和俊

研究分担者：横川博英・高橋雄一・宮上泰樹

研究の意義と目的：

近年の高齢化著しい日本にとって、単なる長寿ではない「健康寿命」の延伸を図る事は重要な意義を持っています。糖尿病などの生活習慣病の原因となる内臓脂肪蓄積や肥満は、死亡率上昇と関連が示唆されている呼吸機能障害や筋肉量減少との関連も示唆されています。

ただし、未だに全容は不明瞭であり、肥満・呼吸機能障害・筋肉量低下の関係を明らかにしていく事が必要とされています。

本研究は人間ドックを受診された方々を対象に、肥満・呼吸機能・筋肉量・生活習慣病などの関係を明らかにするために行われる、後方視的観察研究です。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、人間ドックを西暦2015年5月1日から西暦2015年12月24日の間に、受診された方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

- ①被験者基本情報：年齢、性別
- ②検査情報：身体所見、全身筋肉量/四肢筋肉量、内臓脂肪面積、%肺活量/一秒率、採血結果
- ③問診情報：現病歴・既往歴・内服歴・生活習慣歴

研究解析期間：西暦2015年12月25日 ～ 西暦2016年12月25日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月

WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版)及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(2014年12月22日)に従って本研究を実施します。

個人情報の保護:

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。

また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について:

本研究は、総合診療科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先:

順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科

電話:03-3813-3111 (内線)5328

研究担当者:藤林 和俊